

## 第1回 「街なかものづくり教室」事業について

NPO法人しよまち 小幡みどり

写真は絵手紙教室の参加者  
(左から2番目が小幡さん)



### 子どもたちに、ものづくり体験の場を街なかで提供

本事業は、地域の商店街や町工場の協力により、子どもたちが街なかで技術や経験を持つ方々の指

大学生、研究者、自治体職員などを中心に、安全安心のまちづくり、子どもの健全育成、高齢者の社会参加、「商店街のイベント参画などを通じて地域・商店街の活性化を進めている、NPO法人しよまち」の活動を連載します。

第1回は、今年3月大東文化大学法学部政治学科を卒業、4月から同大学院に進学した小幡みどりさんの報告。

導のもと、実際にものづくりを「体験する」というもので、04年度が2年目になります。

NPO法人しよまちが板橋区で行ってきた様々な活動によって形成されたネットワークを活かし、地域の商店や工場など多くの事業所の協力を得て実施しました。

板橋区が東京都でも屈指の産業地域であることを受けて、町工場の貴重なものづくりの技術の伝承にこの事業を活用できないかと考えた結果でもあるのです。本事業の目的は、子どもたちにもものを作る楽しみを知ってもら



\* NPO法人しよまちホームページ  
<http://www.shomachi.org/>

### 地域の工場や商店、学校、児童館等の協力得て実現

活動は、地域の学校や児童館などの協力も得ながら、「しよまち」の大学生会員が地域と子どもたちをつなぐ架け橋的な役割を担い、板橋区で計5回の教室を実施しました。

小学校や児童館は子どもたちへの連絡と募集、また場所の提供などを担い、商店街の店主や町工場の方、地域の方々に講師としてご協力いただきました。

活動	日時	場所	参加人数
絵手紙教室	2月20日(日)	大山ハロープラザ	7名
粘土でマグネット作り教室	3月4日(金)	大山東児童館	45名
コロッケ&ポテトサラダ作り教室	3月6日(日)	勤労福祉会館	9名
ベーゴマ体験&文鎮作り教室	3月12日(土)	勤労福祉会館	11名
うどん名人体験教室	3月19日(土)	大山東児童館	46名

# これが「街なかものづくり教室」の活動です。

教室ことにその運営方法に多少の違いはありましたが、地域が土

台となって子どもたちにもものづくりを教える教室を行うという形で

実施しました。

絵手紙教室は、区内在住の地域の方を講師に迎えて実施した。板橋第六小学校で募集プリントを配り、事前申し込みで9名の申し込みがあった。

好意で大山ハロープラザに展示していただいた。

## 粘土でマグネット作り教室

当日は悪天候の中、7名の子もたちが参加してくれた。スタッフの参加は3名。講師の見本や画材を参考にして、画仙紙に割り箸や筆で色付けをして各自思い思いの作品を仕上げた。完成した作品は、ハッピーロード大山商店街の方のご

当日は悪天候の中、7名の子もたちが参加してくれた。スタッフの参加は3名。講師の見本や画材を参考にして、画仙紙に割り箸や筆で色付けをして各自思い思いの作品を仕上げた。完成した作品は、ハッピーロード大山商店街の方のご

好意で大山ハロープラザに展示していただいた。

粘土でマグネット作り教室は、区内で活動する「ママズクラブ」の方々に講師に迎えて実施した。この教室の特徴は、平日の学童クラブを場所を選び、より多くの子もたちの参加を試みた点である。平日、区内の小学生が学校帰りに集まる児童館は、子供たちの事業参加のきっかけづくりに最適であった。材料の関係で、大まかな人数は児童館に事前に把握していただいた。参加人数は小学生45名、スタッフ4名。

## コロッケ&ポテトサラダ作り教室

志村銀座商店街の坪木精肉店さんに講師として来ていただいた。志村小学校で募集プリントを配ったが年度末ということもあり、申し込みは1名。大山東児童館のご紹介で、志村地区の児童館で募集していただき、最終的な参加人数は9名、スタッフ6名。

4名程度の班に分かれて、講師の説明に沿って作業を進める。包丁、油の使用には十分に注意を払って作業を行った。手作りの良さを揚げたてのおいしさ、持ち帰りのお土産が好評であった。

## ベーゴマ体験&文鎮作り教室

板橋区内の町工場、株式会社松本精機の鈴木社長に講師として来ていただいた。ベーゴマ特別講師として、区内在住の方が来てくださった。子ども



たちは志村児童館で募集したり、地域の方に直接働きかけたりして、11名の参加。スタッフは3名

ベーゴマは自分で色付けをして乾いたらタコ糸の巻き方からまわすコツまで教わる。初めて体験する子がやはりほとんどだった。文鎮は本格的に機械で鉄を削り、ねじを差し込んで作り上げる。削った鉄は熱い。新しいことの発見やものを作ることから学ぶ楽しさを子どもたちの笑顔から感じた。

## うどん名人体験教室

板橋第一中学校の父兄会が発展した「オヤジの会」の方々に講師としてご協力いただいた。大山東児童館で募集、40名以上の子どもたちが応募。当日お茶碗お箸持参で参加してくれた。スタッフは5名。

6名前後の班に分かれ、厚手の袋に入れた生地を足でもみこみ、寝かせた後、伸ばして包丁を入れる。包丁の使用には注意した。作り方のプリントとお土産の打ち立て生麺は、やはり好評。太かったり短かったり、班毎に麺に味が出ていた。